

これが 公民館報

第302号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,945	世帯
人口	4,808	人
男	2,323	人
女	2,485	人

(平成28年1月1日現在)

年の初めに決意と抱負でスタートダッシュ!
書き初め教室開催

仕事始めとなった一月四日、恒例の「書き初め教室」が四賀支所三〇二会議室で開催されました。午前と午後の二回の教室には総勢二十三名が参加し、小峰眞佐子さんの指導で、学校の課題や市民タイムスへの応募を書き上げました。筆の運び方や全体のバランスなど、慣れない子どもたちにはむずかしい習字ですが、何枚も失敗しながらも納得できるまでがんばっていました。

およそ二時間の時間の中で早々に書き上げる子、時間一杯挑戦する子と様々ですが、新年最初の作品が出来上がりました。



松本市四賀音楽村発足記念イベント 内川絵理奈ピアノリサイタル



松本市四賀音楽村発足記念イベントの一つとして、十二月二十九日にピナスホールで「内川絵理奈ピアノリサイタル」が開かれ、約八十人の聴衆が美しい調べに耳を傾けました。

昨年に続いて二回目となるリサイタルには、音楽村村長の天満敦子さんより「絵理奈さん、がんばれ」の熱いメッセージが届けられました。

リサイタルは二部構成で、第一部はエルガーの「愛の挨拶」ベートーヴェンの「エリーゼのために」など誰もが知っているお馴染みの曲から始まりました。休憩をはさみ、リストの「愛の夢」第三番などピアノストの力量を発揮する曲を披露し、豊かな音色で聴衆を魅了しました。

第二部は四賀混声合唱団が登場。内川さんの伴奏で「植生の宿」青い山脈などを合唱し会場を盛り上げました。



第一〇回目の生涯学習フェスティバル



恒例の劇は、今回は民話からではなく、会田小次郎の伝記にもとづく「御館(おやかた)アラシタジ」です。語り手が三人交代で進行を説明し、愉快な劇を織り交ぜての相変わらずの楽しい劇です。会田小次郎と奥方、家来の活躍の一端がうかがえました。閉会式に「ふるさと」を全員で合唱し、盛会のうちにフェスティバルは終了しました。

生涯学習推進の「生涯学習推進の里 四賀」が宣言され、生涯学習福祉草草俱樂部のサークルの活動発表が行われ、大正琴、踊り、詩吟、合唱がステージで日頃の練習の成果が発揮されました。

続いて「さくら農会」の活動について会長の久保田昭八さんから発表され「まつもと子ども留学」の活動が副理事長の橋本俊彦さんから発表されました。

会田中学校3年生の保健体育でのダンス学習の様子がプロジェクトで発表され、実際に3年生女子生徒がステージでダンスを披露しました。若々しく元気なダンスに、観客席の参加者



新成人おめでとう!

十二月五日、蕎麦食人会を講師に「蕎麦打ち講座」が行われました。参加者は、あらゆる年代の約三十名で、五人ずつ班に分かれて、講師のデモンストレーションのあとに一人ずつの実践です。主婦の方の腕はさることながら、去年から参加しているという小学生の男の子の腕前も見事なものです。年越し蕎麦のために年に一回だけのそば打ちを行っている人も、講師の指導で上達したようです。

打ちたての蕎麦は、自分で打った思い入れもあり、コシがあり、みなさん美味しいと言っていました。

教わったことを生かし、大

十二月十二日に「ポーセラーツ講座」が開かれました。既製の陶磁器にシール状の絵柄を配置し、焼き上げてオリジナルのカップやお皿を作ります。今回初めての講座ですが、講師の加納啓子さんの指導で、参加者の皆さんはデザインをいろいろ考えながら、絵柄をカップの表面や内側、底にも配置して、それぞれ独自のカップを仕上げていきます。加納さんにお預けして、後日焼き上がったら完成です。

出来上がった後は加納さんお手製のティーカップとアイシングクッキーでおしゃれなお茶会をしました。次回はみなさんもぜひご参加を！



ポーセラーツ講座



手作り蕎麦がら年越し

蕎麦打ち講座開催

みそかは各家庭で打ちたての年越し蕎麦を堪能したことでしよう。

クリスマスが近づくと十二月十九日、九名の参加で「アイシングクッキー講座」が開催されました。用意されたトナカイや雪の結晶、クリスマス



アイシングクッキー講座

鮮やかな色のクッキーを



しめ飾り体験学習会

自分で作ってみよう

子ども会育成会(山岸 忍 会長)主催の「しめ飾り体験学習会」が十二月十三日赤松

四賀地区担当
清本 悠 保健師
四賀支所にいます!

- 2月25日(木) 9:00~11:00
- 3月1日(火) 2:00~4:00

お気軽にご相談ください。

クリスマスが近づくと十二月十九日、九名の参加で「アイシングクッキー講座」が開催されました。用意されたトナカイや雪の結晶、クリスマスツリー形のクッキーに砂糖や卵白を使用した五色のクリームで次々と絵を描き、クリスマススムードが盛り上ります。講師の吉田さんは米国在住経験があり、アメリカ風のクリームで鮮やかな美しい仕上がりでした。



館で行われました。正月に飾る「しめ飾り」について理解を深め、自分で作ってみようと保育園児から小学校六年生までの子どもと保護者二十七名が参加しました。前会長の瀧澤正行さんから、しめ飾りについての説明を聞いた後、基本的な「縄なし」を行いました。保護者に手伝ってもらいながら、コツを教えてもらつと、すぐにうまく見えるようになりました。次は「杓子」や「しゃもじ」、「おわん、お猪口」と呼ぶ二種類を作り、「紙垂」をつけた後、松に縄で縛り完成です。

▼全国的な問題となっている耕作放棄地を借りてなどと想像する。花でも野菜でも畑を生かさないと自分一人ではできないし、専業でやることにも躊躇する。一緒にやってくれる仲間が必要。心当たりの人は皆定年を過ぎてても仕事に出たり、自分の畑をやっていたりする。そんな余計なことには手を貸してくれるかなあと心配だが、悩むより行動することが一番。最初から大きくしないでできることを積み重ねていけばよい。声を掛けて相談してみる。手はあると思う。

湧き水

▼年頭に当たり、今年やりたい事を考えてみた。一番には畑で何を作るかという事である。ここ数年、近所の無耕作畑の一部も借りて色々な野菜作りをしてきたが、平日は他の仕事もあり、夕方とか土日の休みくらいしか畑仕事もできない。十分に手を掛けられない事もあるが、野菜作りは手を掛けるポイントを抑えてやれば、少ない手間でもちゃんと立派に育ってくれる。欲が出て、あまり手の掛からない物をもう少し多く作りたくなっている。